



「連合奈良の日」8月度

毎月05日は
れんごうの日



8月7日、18時より近鉄大和高田駅において「連合奈良の日」街頭宣伝を行いました。

中和地協からは笠谷議長はじめ11名、推薦議員は、西川繁和大和高田市議会議員・筒井寛香芝市議会議員に参加いただきました。

今回のテーマは、連合の「社会貢献活動」と「平和運動」、そして7月のテーマであった「ワークルールを知らう」も合わせてアピールを行いました。

連合では WEB サイト「ゆにふあん」を通して労働組合や地域の NGO・NPO による「支え合い・助け合い」活動をサポートしています。

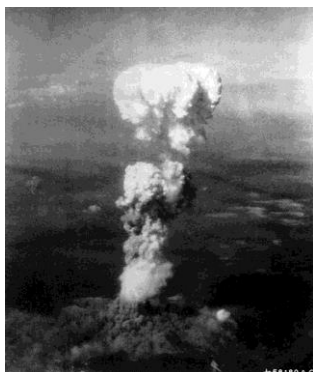
平和行動として、沖縄・広島・長崎・根室を結んで集会を開催し、それぞれの課題での平和アピールを行っていることを報告しました。

「ワークルール」は、健康で安全にはたらくことができるように働く皆さんを守るためのものであり、最低限の法律やセーフティネットを知ることが大切であることを訴えました。

雨が心配な状況でしたが、何とか免れビラティッシュ配布を貫徹できました。



連合の平和運動 II



連合は、「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で核兵器廃絶と恒久平和の実現」を掲げ、8月5～6日「平和行動 IN 広島」、8月8～9日「平和行動 IN 長崎」を行ってきました。全国から組合員が結集して、連合「平和ヒロシマ集会」「平和ナガサキ集会」を開催し、被爆当日(6日、9日)には、慰霊碑や記念碑を巡る「ピースウォーク」を実施して被爆の実相について学ぶとくみなどを行っています。

1945年8月6日午前8時15分広島に、1945年8月9日午前11時2分長崎に原爆が投下されて78年が経過しました。厚労省によれば被爆者の平均年齢は 85.01 歳となり、実相を語り継ぎ平和への願いを引き継ぐことが大きな課題となっています。今、核兵器の三度の使用が現実になりかねない国際情勢にあつて、核兵器廃絶に向けた取り組みが一層重要となっています。(左;広島に投下された原爆のキノコ雲)

ノーモア・ヒロシマ ノーモア・ナガサキ 核兵器廃絶！



連合奈良が推薦議員懇談会を開催 7/14



「働くことを軸とする安心社会一まもる・つなぐ・創り出す」に向けて！



推薦議員団を代表して挨拶する馬淵衆議院議員



挨拶する西田連合奈良会長



政策提起する水野事務局長



全体集合写真

2023年7月14日、ホテルリガーレ春日野において、連合奈良推薦議員懇談会が開催されました。

第20回統一地方選挙以降、初めての懇談会には馬淵衆議院議員はじめ、現・前県議会議員、市町議会議員23名が参加、中和地協エリアからは、川口信県議会議員、尾崎充典前県議会議員、中村良路、筒井寛香芝市議会議員が参加しました。

また、連合奈良からは西田会長、水野事務局長はじめ15名が参加、中和地協からは笠谷議長、竹平事務局長が参加しました。

会議冒頭、西田会長は「それぞれの立場は違っても連合のめざす政策の実現に向けて、一つになって力をあわせてもらいたい」と挨拶。出席議員を代表して馬淵衆議院議員は国政を巡る状況を報告しながら、野党一丸となって与党に臨んでいくこと、地域の具体的な課題に寄り添う政治活動を進めていくことなどの決意を述べました。

連合奈良からは、水野事務局長が①「連合の政策・制度 要求と提言」、桐木副会長が②「地方公務員会計年度任用制度の課題」、松田副事務局長が③「MIMOSA活動報告」を提起し、質疑・応答が行われました。続いて出席議員からはそれぞれの取り組みが報告されるなど、活発な意見交換が行われました。

中和地協役員幹事・友好議員合同研修会を実施 7/15～16

2023年7月15日～16日、中和地協役員・友好議員合同研修会を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の位置づけも5類に移行し、行動制限が大きく緩和されましたが、コロナ感染には引き続き注意を払いながらの合同研修となりました。

今回は、尾崎前県議、西村前市議、西川大和高田市議、筒井香芝市議の4名、連合奈良から松田副事務局長、中和地協からは笠谷議長はじめ7名が参加しました。

国宝松本城、美ヶ原高原はじめ長野県の文化財、自然にも触れ、充実した研修となりました。

